

# ふらっと.come!

令和2年1月30日 第65号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

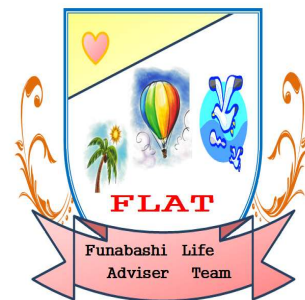
基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神1-31-31 シュネス海神101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## グループホーム制度誕生31年目!

ふらっと船橋 所長 清水 博和

新年明けましておめでとう御座います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、12月14日に当法人主催講演会シンポジウム開催につきまして、多くの方にご参加頂きまして盛況に終える事が出来ました。遅くなりましたが、ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますと共に次年度開催に向けて、皆様の関心のあるテーマに基づき企画を検討してまいります。

第1部講演会では、日本グループホーム学会代表である光増氏に講演をいただきました。テーマは「グループホームの歩みを検証する～変わらないものと変わったもの～」創設当初からの理念は今も普遍的であるものの、制度面で入居者の人数であり家賃補助やサテライト型、体験入居や一人暮らしをした際の「自立生活援助」。また、職住分離の考え方により日中活動先等をセットとしていた従来の制度の他に、入居者の障がい種別や特性、重複化等を鑑み「日中サービス支援型グループホーム」の創設等。より手厚い世話人の配置とするため配置による基本報酬を設定。(基準等は要確認)このように仕組みは変わってきましたが、入居者の想いとしては制度ほど大きく変わる事は無く、「自分らしい暮らしの実現」は当初からの想いのままではと考えます。援助者は変わっていく制度の中で如何に「入居者の想い」に添った支援を継続していくか。資料の中で振り返りのポイントとして「入居者のことを管理者や世話人が独りよがりか」「運営が管理的になっていないか」等が挙げられています。

まとめとして、これからの未来は「究極はグループホームの制度が発展的になくなり、一人暮らしを支える制度が主流に、一人暮らしが難しい場合は一人暮らしの変形型で住宅を共同利用する場合も想定!」と記されていました。

シンポジウムでは入居されている当事者2名のお話はまさに生活感のあるお話で、世話人さんとの関係性や暮らし方について語られていました。また、管理者の立場からはグループホーム全体の課題として、高齢化への対応、看取り(選択)、医療的ケアが必要な方々のホーム設置。更に触法者の支援等に加え、働き手の人材確保と育成。労働基準法との兼ね合いなど諸々課題はありますが「入居者の想いを支える」という事に関しては変わらない事を願います。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」  
構築推進事業について

船橋市地域活動支援センター「オアシス」  
施設長 住吉 則子

皆さまが耳なじみあるのは高齢者の地域包括ケアシステムかと思いますが、平成30年4月より「精神障害にも」対応した地域包括ケアシステム(以下包括ケア)構築推進事業がスタートしました。

精神疾患は誰もがかかり得る病気です。多くの場合は治療により、地域で安定した社会生活をおくることが可能です。地域には多くの精神障害者の方が生活を送っています。一方で、まだ多くの精神障害者の方が社会的入院を余儀なくされている現状もあります。

国では、精神科病院等に長期間入院されている方々を対象に「精神障害者地域移行支援（旧退院促進支援）事業」を平成16年に開始しました。しかし、国のビジョン通りに退院者数が増えなかった現実があります。更には、地域での支援が不十分な為、生活が不安定となり、病状が再燃し、再入院をするなどの例が見られました。

そこで、精神障害者の方が地域で安定した生活を継続できるよう、地域の支援体制を構築していくことが重要だろうという考えに至ったのが「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進事業です。

精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう、「医療」「障害福祉・介護」「住まい」「社会参加（就労）」「地域の助け合い」「教育」が包括的に確保されたシステムを構築していくことが求められます。

県・保健所・市・医療機関・障害福祉サービス事業所等が協働し、各地域の特性や実情に合わせた「我がまち」の包括ケアシステムのあるべき姿(地域ビジョン)を共有し、システムの構築に向けた取組を推進することが大変重要です。

この仕組みが、「入院医療中心から地域生活中心」への理念を支えるものとなり、また、多様な精神疾患等に対応する土台づくりとしての基盤整備につながることを期待されます。そして、今後は精神障害者のみならず全ての人が住みよい街づくり、共生社会への実現につながっていく事を願っています。

## お知らせ

ふらっと船橋主催研修会

### 発達障害あれこれ

日時：令和2年2月21日（金）

13：30～16：00

会場：船橋市勤労市民センター3階

第4会議室

内容：（前半の部）

発達障害の特徴

発達障害と発達段階

発達障害と併存しやすい疾患・問題

（後半の部）

発達障害と非行

グループシェアリング・質問タイム

講師：ふらっと船橋相談員 武田好美

公認心理師 臨床心理士

参加費：無料

申し込み締め切り：2月10日

ふらっと船橋主催講演会

誰もが暮らしやすい街づくりのために

父親という立場と役割。社会の一員としての役割。

日時：令和2年2月16日（日）

9：40～11：40

会場：船橋市勤労市民センター3階

第1、2会議室

講師：野澤和弘氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表

植草学園大学客員教授

参加費：無料

申し込み締め切り：2月10日

## お問い合わせ

ふらっと船橋 担当：清水・正木

TEL/047-495-6777

FAX/047-495-6776

E-mail/flat-funabashi@key.ocn.ne.jp